



繫

T S U N A G U

2025年4月号
発行/医療法人 大泉会

第11号

「いずみクリニック
いずみクリニックを「かかりつけ医」にしませんか？」

あなたや家族にとって最も身近なお医者さん、それが「かかりつけ医」です。いずみクリニックは開院以来、歴代院長を中心に地域に根ざした医療を提供し、地域に寄り添い、誰もが気軽に受診できるクリニックづくりを心掛けています。普段から「かかりつけ医」へ受診していれば、治療だけでなく、病気の予防や健康促進にも役立ちます。病歴やお薬の情報も把握できるので、急な病気やケガにも対応することができ、必要な場合には適切な医療機関への紹介も可能です。また、通院が難しい方には、定期訪問診療（往診）も行っている他、介護保険や認知症のことなどのご相談も承っております。

「血圧が高い」「胃が痛い」「めまい」がするなどの内科的な診療はもちろん、打撲やケガの処置などの外科的な診療も行っています。発熱や風邪症状がある場合には発熱外来でご来院ください（発熱外来は予約制です）。

地域の「かかりつけ医」として、必要に応じて周辺の医療機関とも連携をとりながら、最善の医療を提供できるよう日々努力して参ります。何かお困りのことがございましたらお気軽にご相談ください。



地域に密着した医療・介護・福祉ネットワーク

医療法人 大泉会

<http://daisenkai.jp>

地域に密着した のトータルケア



医療法人 大泉会

大仙病院

〒593-8302
大阪府堺市西区北条町1丁2番31号
TEL 072-278-2921
FAX 072-278-2925

医療法人 大泉会

いずみクリニック

〒591-8036
大阪府堺市北区百舌鳥本町2丁401番地
TEL 072-257-6226
FAX 072-258-5537

医療法人 大泉会

いずみ訪問看護ステーション

〒593-8302
大阪府堺市西区北条町1丁2番31号
TEL 072-276-5505
FAX 072-276-5525

大泉会

介護支援センター

〒593-8303
大阪府堺市西区上野芝向ヶ丘町1丁21番5号
TEL 072-270-8305
FAX 072-270-8306

医療法人 大泉会
介護老人保健施設

だいせん

〒599-8234
大阪府堺市中区土塔町155番1
TEL 072-230-0201
FAX 072-230-0205

医療法人 大泉会
介護老人保健施設

くろいし

〒594-1113
大阪府和泉市黒石町566番1
TEL 0725-57-2266
FAX 0725-57-2267

医療法人 大泉会
介護老人保健施設

うえのしば

〒593-8303
大阪府堺市西区上野芝向ヶ丘町4丁24番30号
TEL 072-276-3500
FAX 072-276-1700

医療法人 大泉会
介護付き有料老人ホーム

むこうがおか

〒593-8303
大阪府堺市西区上野芝向ヶ丘町4丁24番39号
TEL 072-281-1135
FAX 072-281-1139

介護老人保健施設 うえのしば

外国からの介護人材の受入れ

このたび、当施設では7月頃より外国からの介護人材をはじめ受入れることとなりました。これは、介護業界全体で人材不足が深刻化する中、質の高い介護を継続して提供するための取り組みの一環です。

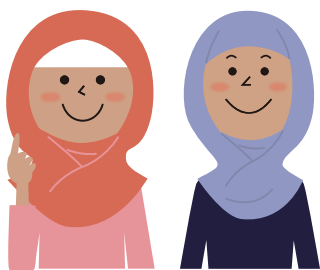
インドネシアから女性スタッフが二名来られます。

現地での研修を経て、介護に関する知識や技術を学びながら、皆様の大切なご家族のケアに携わります。日本語の習得にも励み、一生懸命に業務に取り組む姿勢を大切にしてまいります。

最初は言葉や文化の違いにより、ご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、スタッフ一同、丁寧な指導を行いながら温かい介護を提供できるよう努めてまいります。

ご家族の皆様が、何かお気づきの点やご不安なことがございましたら、どうぞ遠慮なくお知らせください。皆様と協力しながら、より良い介護サービスを提供できるよう努力してまいります。

何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



介護付有料老人ホーム むこうがおか

介護付き有料老人ホームむこうがおかです。

所長就任のご挨拶

令和7年4月21日付で介護付き有料老人ホームむこうがおかの所長に就任いたします。宗岡 恵子と申します。

鹿児島県の離島「沖永良部島」の出身です。これまで急性期混合病棟、医療療養・介護療養病棟、通所リハビリテーションと看護師として38年間いろいろな経験をしてきました。これらの経験をもとに入居者様に満足していただける施設を目標に頑張っています。いきたいと思えますのでよろしくお願い致します。

桜花の候、春風も暖かくなり、桜も咲き始めました。

むこうがおかの桜も咲き始め「花見レクリエーション」を開催していきたいと思えます。近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



介護支援センターくろいし

介護支援センターくろいし（訪問介護事業所）は、現在常勤3名と登録ヘルパー2名で主に和泉市と堺市南区にて高齢者の生活支援と身体介護を行っています。

現在約30件のご自宅に訪問させていただきますが、モットーはより身近に感じていただきながら、来てもらってよかったと毎回感じていただくことを大切にしています。

中でも特に食事ではご本人の体調に合わせ調理と味付けをしながらおいしく召し上がっていただけるように心掛けています。

また入浴などの支援では転倒やけがのないように十分配慮しながら、気持ち良かつたと思っただけ、体調を崩されないように行っています。

それぞれ今までのライフスタイルがあり、日々支援をお手伝いさせていただいているスタッフも学んだり考えさせられることもあります。より身近に感じていただけるように毎月研修を行い、その経験豊富なスタッフがこの方にはこうしてみてもいいなど職員間で問題共有や改善について意見を出し合い研鑽を積んでいます。

くろいしでは居宅介護支援事業所も併設されており、介護支援専門員も3名在籍しています。介護でお困りのことがあればいつでもご相談ください。

「いずみ訪問看護ステーション」

訪問看護ってなにができるの？

訪問看護って何ができるの？という質問を受けることが多くあります。今回は訪問看護の内容についてお話しします。

私たち訪問看護師は病気や怪我、障がいをもつ方がご自宅で安心して療養できる様に支援することが主な仕事です。内容としては主治医と連携しての医療行為、例えば点滴やカテーテル管理など病院で行われている医療行為はほとんどご自宅で行うことができます。最期の看取りの支援も行っており大切な方と大切な時間を過ごすお手伝いもさせていただいています。

その他にもお薬の管理、整容・入浴などの療養環境を整える支援もしています。また病気や治療、介護方法についての相談もお受けしています。別途加算がかかりますが当ステーションでは24時間対応体制を取っており365日・24時間看護師に電話がつながり必要に応じて夜間でも相談や緊急訪問を受けることができます。このように住み慣れたご自宅で安心して過ごしていただけるようなお手伝いをしています。

ご利用については主に介護保険と医療保険の適応となっております。それぞれの利用には決まりがあるため詳しくは担当ケアマネージャーや主治医、当訪問看護ステーションまでご相談ください。

「大仙病院」

第四回市民健康教室のお知らせ

表題：「狭心症・心筋梗塞の診断と治療について」

大仙病院のリハビリテーション室で、市民健康教室を開催いたします。

今回のテーマは「狭心症・心筋梗塞の診断と治療について」です。狭心症や心筋梗塞は、生活習慣と関係が深い心臓の病気で、多くの方が関心を持っている病気です。これらの病気は、早期に見つけて適切に治療することが大切ですが、どんな症状が出るのか、どんな生活を心がければ予防できるのかを知らない方も多いのが現状です。

この教室では、狭心症や心筋梗塞がどんな症状か、どんなことが原因になるのか、そしてそれに早く気づくための方法を、できるだけわかりやすくお話しします。また、心臓を守るために役立つ食事や運動、日々の生活習慣についてもご紹介し、みなさんが日常生活で実践できるような情報をお伝えしていきます。

講師

井上和重 院長

(専門分野：内科・循環器内科・心臓血管外科)

参加対象者

地域住民の皆様どなたでも参加できます。ご家族やご友人をお誘いの上、ぜひご参加ください。

開催日時

令和7年5月30日(金) 14時～(約1時間)

(時間内に質疑応答の時間を設けておりますので、疑問に感じていることがあればお気軽にご相談ください)

会場

大仙病院 一階
リハビリテーション室

参加費

無料



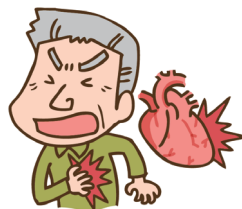
参加方法

参加を希望される方は、大仙病院の職員にお気軽に声をかけていただくか、電話またはLINEで事前にお申し込みください。

お申し込み先

電話番号：072(278)2921

LINE ID：@574igpxy



LINE 友だち追加して、参加申込みをしてください



〈食事について〉

朝、昼、おやつ、夕食の食事提供の中で、食事の重要性についてご説明いたします。

今まであたり前に食べていたことが、実は治療の良し悪しにつながったり、治療方針を左右したりします。食事ができることがとても重要で、食事の有無によって食事提供が変わる為、利用者さまの要望を細かく傾聴しながら食事提供を心がけています。高齢者施設では低栄養の方が多くいます。



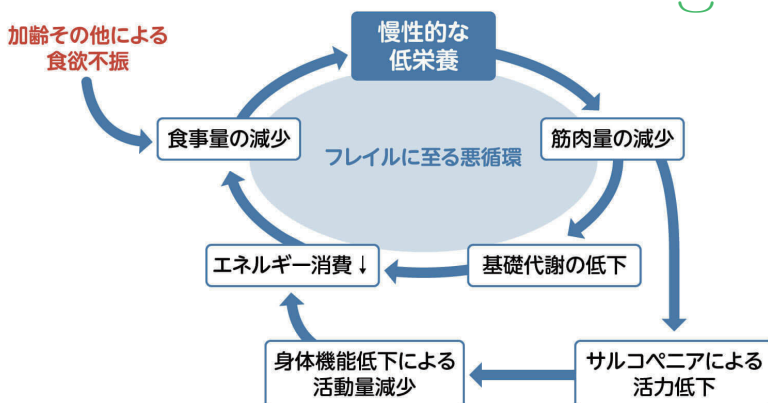
〈低栄養について〉

低栄養とは、「健康に生きるために必要な栄養素が摂取できていない状態」です。多くは高齢者にみられ、その背景には、食欲・活動量の低下や嚥下機能・咀嚼機能の低下など加齢に関わる問題、孤独感やうつ状態などのこころの問題、多剤服用といった病気に関連する問題が多くあります。

高齢者になると、胃腸の働きが鈍くなり、食べ物を効率的に消化・吸収する能力が低下します。その結果、必要な栄養素が十分に体内に取り込まれず、栄養不足につながります。

飲み込む能力（嚥下機能）も低下して、1回の食事が減少し、これが持続することで食欲に影響を及ぼすことがあります。味やにおいを感じる力が弱くなることも食欲低下の一因と考えられます。身体的な変化によって食欲が低下し、ご飯を食べることができないことがあります。

まず、胃や腸など消化器官の機能低下によって食べ物が胃に残る時間が長くなり、空腹を感じなくなることや、噛んだり飲み込んだりする能力の低下によって食べる意欲がなくなることなどが原因と考えられます。



〈私の目標〉

どのようにしたら食べることができるのか日々勉強です。個別対応で食事の調節を行います。限られた時間の中で好きなものをおいしく食べてほしい、そう思い諦めずに食事を見直しています。嗜好は人それぞれで、同じ問題でも栄養の食事のポイントは全く異なります。「今日の献立は良かった」とうれしい声を聞くこともあります。最初は四苦八苦しましたが、管理栄養士としての役割の大きさを実感する機会が多く、とてもやりがいを感じています。食事を食べられるようになることがいかに重要かと考え、その方の問題を見つけしっかり向きあうことが大切だと改めて考えました。入社2年目ですが、その中で行事食の企画にも力を入れ、毎月1回管理栄養士による手作りおやつを提供しています。大変好評をいただいています。今後も利用者さまが楽しんで、喜んでいただける食事提供を目指していきたく思います。これからも利用者さまの健康を支えられるように学び続けていきたいです。



行事食／左から「桜ちらし」「桜モンブラン」